

< 西緑地のアカシジミ >

桑原紀子

梅雨が近づいて栗の花が咲き始めると、(ゼフィルスの飛ぶ頃だなあ)と思います。蝶好きにとっては、初夏の季節にだけ出会える憧れの蝶たちです。ギリシャ神話の西風ゼフィロスに因んだこの愛称を持つ蝶は、日本では24種類います。夏至の頃快晴をもたらし、沢山の花々を携えて吹いてくるというこの温暖な西風のイメージは、赤や緑、青、水色などそれぞれ美しい色彩の翅を持ち、小さく可憐な森の妖精といった風情の蝶たちにぴったりなのです。

今は住宅地になったかつての能ヶ谷の里山にも、6種類のゼフィルスがいきました。ゼフィルスは山地性の蝶で、ブナ科やハンノキ、イボタ等の若葉で育ち、日中はめったに姿を見ることはできません。木々の梢で休んでいて、黄昏時に活発に林冠を飛び回る習性があります。

そのゼフィルスの中でもひととき可憐なオレンジ色の翅のアカシジミに、西緑地で出会ったのです。

5月22日草刈の作業日、ヤママユ見学の客が来られたので、4月に作った飼育棟の中へ案内しました。コナラで幼虫たちが葉を食べています。その緑一色の中に小さなオレンジ色が目に飛び込みました。目を近づけると、間違いなくアカシジミでした。思いがけない突然の出会いに私はびっくりして、有頂天になりました。探すか3頭もいます。どれも生まれたての美しさで、葉上で翅を閉じ、

ひっそりと止まっています。翅の表は明るいオレンジ色なのですが、目の前の裏面は濃い赤茶に白い筋が数本走り、縁は鮮やかなオレンジ色、尻尾のような尾状突起は黒



で先端は白、これはまるで触角そっくりで、一瞬どちらが頭か迷ってしまいます。でも本物の触角は黒白の縞で先端はオレンジ色がぼつんとついています。仲間と観察した後、ネットの外に放しました。西緑地で見たのは初めてなので、どの位いるのか知りたい気持ちが募ってきます。

数日後黄昏飛翔を見に、西緑地に行きました。夕方の西緑地はさわやかな初夏の風が吹き、ツバメやヤマが餌を求めて盛ん

に飛び回っています。林ではアカゲラやコジュケイが鳴いています。5時半頃、コナラの高木の上を小さな蝶のシルエットが現れました。3頭4頭と増えていき、ちらちらと激しく追いかけてあいます。すぐ葉に止まっていなくなり、又現れて数頭がもつれるように飛んでは姿を消すのを繰り返します。雄が雌を探し、ライバル雄を追い払う生命の営みなのです。夕日が木々の間に沈むまで、1時間あまり蝶たちの営みは続きました。雌はやがて緑地の若いコナラ、クヌギの枝に産卵し、来春の孵化まで、長い時間を過ごします。西緑地の楽しみ方がひとつ増えました。アカシジミの黄昏飛翔、ごいっしょに楽しみませんか？